

第11章 配列



[CTRL]キー

を押しながらクリックすると別ウィンドウでYouTubeがみれる

第11章 配列

配列

配列とは

- 複数のデータを一括で管理するための仕組みです。
 - └ 変数という箱に仕切りで部屋を作るイメージです。
 - └ この部屋のことを「要素」と呼びます。
 - └ 要素には文字や数字、また配列などを格納できます。

 文法 配列の作成

```
var 配列名 = [要素1, 要素2, 要素3, ...];
```

 例 配列の記述例

```
var fruits = ["りんご", "みかん", "いちご", "ぶどう"];
```

 文法 配列内の要素を参照する

配列名[インデックス]

 例 配列内の要素を参照する記述例

```
var fruits = ["りんご", "みかん", "いちご", "ぶどう"];  
alert(fruits[2]);
```

 文法 配列の要素数を参照する

```
配列名.length
```

 例 配列の要素数を取得する記述例

```
var fruits = ["りんご", "みかん", "いちご", "ぶどう"];  
alert(fruits.length);
```

第11章 配列

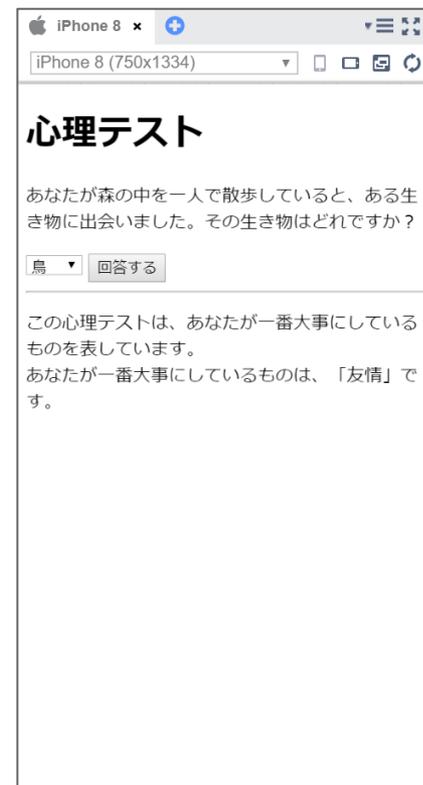
実習

準備

- 実習の前にサポートページから本章のために用意されたひな形をインポートして下さい。

実行結果

- 心理テストを回答して下さい。
- 画面に結果が表示されれば成功です。



実習

```
<script>
  var answerList = [
    "友情",
    "愛",
    "プライド",
    "お金",
    "夢"
  ];

  function showAnswer() {
    var choiceNo = document.getElementById("choiceList").value;
    document.getElementById("answer").innerHTML = "";
    document.getElementById("answer").innerHTML += "この心理テストは、あなた
が一番大事にしているものを表しています。<br>";
    document.getElementById("answer").innerHTML += "あなたが一番大事にしてい
るものは、「" + answerList[choiceNo] + "」です。";
  }
</script>
```

実習で作成したプログラムに以下の機能を追加してください。

- ・ 選択肢を一緒に表示してください
- ・ 表示の仕方は「～を選んだ、あなたが一番大事・・・」と
いうようにしてください

※ヒント。鳥、リス、クマ、人間、妖精となっている配列を作ってみましょう。

入力ができたら、メニューバーの保存ボタンを押してください。保存されたら、「Web公開」して発行されたURLを進捗シートにコピーペーストしてください。